

第105期 報告書

2024年4月1日～2025年3月31日

○ トップメッセージ Top Message

株主の皆様には平素は格別のご支援を賜り深く感謝申し上げます。ここに当社グループの第105期の報告書をお届けいたします。

当連結会計年度における世界経済は、米国は堅調に推移しましたが、ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格・エネルギーコストの上昇や世界的なインフレ進行などがあり、欧州を中心に足踏み状態となりました。また、中国も個人消費の伸び悩みと不動産市場の悪化により回復が遅れました。

日本経済は、個人消費やインバウンド需要の回復の動きが見られたものの、原材料価格・エネルギーコストの上昇や為替レートの大幅な変動など、先行き不透明な状況が継続しました。

このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には、省エネルギー関連製品、環境対応製品、防災関連製品、生活関連製品、インフラ整備関連製品などの重点分野、およびグローバル化へ積極的な事業展開を推進するとともに、継続してコストダウンおよび省エネルギー・廃棄物の削減に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は売上高79,093百万円（前期比0.6%増）、営業損失436百万円（前期は958百万円の営業損失）、経常損失220百万円（前期は171百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益427百万円（前期は8,210百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

当社グループを取り巻く事業環境は、ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響、ウクライナ情勢等による原材料価格・エネルギーコストの上昇・高止まり、マーケットの冷え込みに伴う物量減少など、厳しい状況が継続しました。

当社グループにおきましては、足元の業績における収益性の悪化に対応するため、生産性の向上（コストダウン）や価格改定の推進、新しい価値創造への取り組みにより業績は改善しつつありますが、高い利益を生み出し続ける企業への転換が課題となっております。

このような状況下、当社グループは、世界に、驚き・喜び・感動を提供し、人々の生活を豊かにする『グローバル ソリューション プロバイダー』を長期的な目標に掲げ、それを見据えた3ヵ年の方向性を示す『中期経営計画-FY25～FY27』を策定いたしました。

社員一人ひとりの好奇心、多様な能力、ユニークなアイデア、ひらめきを大切に、様々なテクノロジーを組み合わせたソリューションで社会に貢献することを目指し、3つの全社戦略（選択と集中の徹底、新たな価値の創造、グローバル戦略の推進）を柱に人材力や生産性・技術力等の事業基盤の高度化に取り組むとともに、サステナビリティ経営を推進し、収益力の再構築・強化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

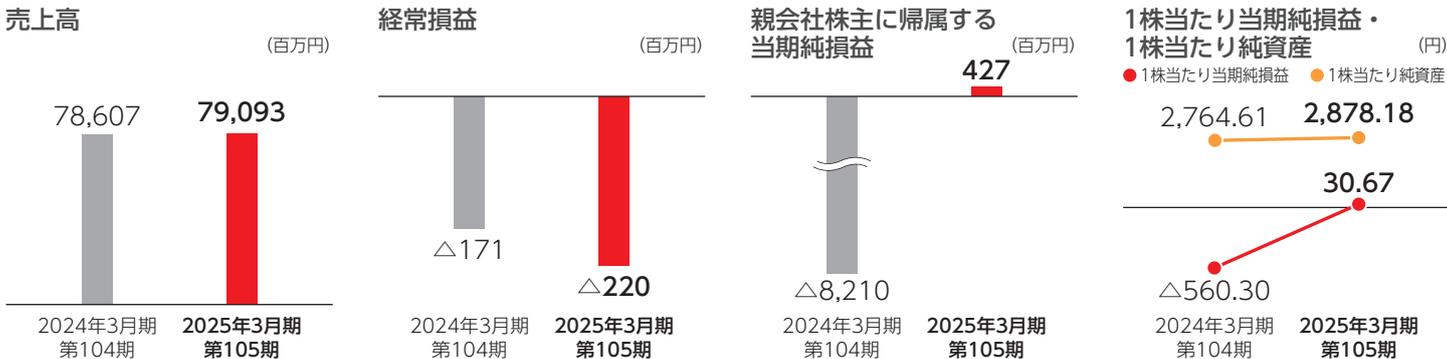


代表取締役社長

日景一郎

2025年6月

○ 連結財務ハイライト Financial Highlights



<https://koekiku.jp>
アクセスキー 5142JepC
アンケート回答期間：2025年6月27日～2025年8月26日

株主の皆様の声をお聞かせください
アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で
薄謝（Amazonギフトカード500円）を進呈させていただきます。
本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp

決算数値等の詳細は、当社
ホームページをご覧ください。
<https://www.achilles.jp/ir/>

※本キャンペーンは株式会社プロネクサスによる提供です。本キャンペーンについてのお問い合わせは Amazon ではお受けしておりません。Amazon、Amazon.co.jpおよびそれらのロゴは Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

セグメント別事業の概況 Business Review

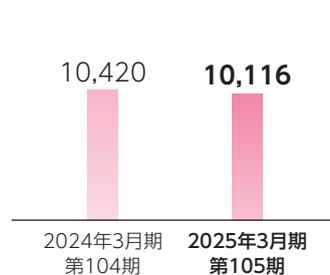


シューズ事業

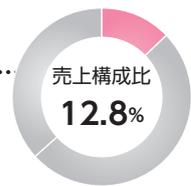
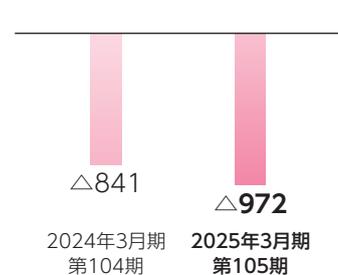
- 売上高 **10,116**百万円 (前期比 **2.9%**減)
- セグメント損益 **△972**百万円 (前期は **△841**百万円)

- 健康志向の高まりの中で、ランニングシューズブランド「BROOKS(ブルックス)」が好調に推移。
- 衝撃吸収素材「ソルボセイン」搭載のコンフォートシューズ「アキレス・ソルボ」は、性能や履き心地の良さが市場から評価され好調に推移。
- 全体としては、その他の商品群が苦戦し減収。
- セグメント損益は、販売費の削減等に努めたものの、円安による仕入れコストの増加等により損失拡大。

売上高推移 (百万円)



セグメント損益推移 (百万円)

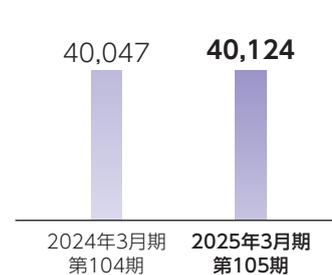


プラスチック事業

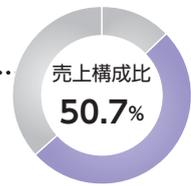
- 売上高 **40,124**百万円 (前期比 **0.2%**増)
- セグメント損益 **222**百万円 (前期比 **77.5%**減)

- 車輦内装用資材は、日本・中国・北米市場で日系自動車メーカーの生産減少の影響を受け、前年売上を下回る。なお、自動車市場の急激な環境変化に伴い、当初の事業計画において想定していた収益が見込めなくなり、短期的な業績改善が難しいとの判断により、中国子会社の阿基里斯(佛山)新型材料有限公司の保有する固定資産について減損損失を計上。
- フィルムは、米国子会社が苦戦するも、エレクトロニクス分野、ライフサイエンス分野向けが大きく伸長し、前年売上を上回る。
- 建装資材は、住宅市場低迷の影響を受けた市況鈍化により、前年売上を下回る。
- 防災対策商品は、国内・海外ともに販売が伸び悩んだほか、前年度の国内レスキューボート販売増の反動もあり、前年売上を下回る。
- プラスチック事業全体では、海外市場での減収による粗利減の影響等により増収減益。

売上高推移 (百万円)



セグメント損益推移 (百万円)



産業資材事業

- 売上高 **28,853**百万円 (前期比 **2.5%**増)
- セグメント損益 **2,662**百万円 (前期比 **87.4%**増)

- ウレタンは、車輦用が低調に推移するも、寝具・雑貨用が復調し、前年売上を上回る。
- 断熱資材は、ボード製品が住宅、非住宅建築向けで好調に推移し、スチレン製品も好調に推移したことにより、前年売上を上回る。
- 工業資材は、半導体ウエハー搬送用部材が回復基調で推移したこと、医療機器向け大型成型品の伸長により、前年売上を上回る。
- 産業資材事業全体では、価格改定の効果や生産性の向上による利益率の改善、前期に減損処理を行ったウレタン・断熱資材の減価償却費の減少等により増収増益。

売上高推移 (百万円)



セグメント損益推移 (百万円)



「東京マラソンEXPO 2025」出展

2025年2月27日から3月1日にかけて東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された「東京マラソンEXPO 2025」(来場者数:73,603名)に、当社は日本国内の総販売代理店を務める米国ランニングシューズブランド「BROOKS(ブルックス)」のブースを出展しました。

世界のトップアスリートとともに開発したスピードモデルの最新作「HYPERION ELITE4PB(ハイペリオン エリート4PB)」やロングセラーモデル「Glycerin(グリセリン)」の厚底モデル「Glycerin MAX(グリセリン マックス)」等の人気モデルを展示、販売したほか、シューズの試着イベントも実施し、当社ブースへお越しいただいた方々のランニングスタイルや目的に合わせたシューズ選びのサポートをしました。

今後も、日本市場でのブランドの認知度向上に取り組み、拡販に努めてまいります。



「BROOKS」のブース外観

EcoVadis社のサステナビリティ評価(2025)において上位35%以内となるブロンズメダルを獲得

当社滋賀第一工場(滋賀県野洲市)は、EcoVadis社による2025年のサステナビリティ調査において、評価対象企業の上位35%以内となる「ブロンズメダル」を獲得しました。

EcoVadis社は、SaaSプラットフォームを通じて、企業のサステナビリティやサプライチェーンにおけるCSR評価を実施する国際的な機関です。国際労働機関(ILO)協定やISO 26000規格等の国際基準に基づき、企業の取り組みを「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な資材調達」の4分野に分けて評価しており、近年では多くのグローバル企業がサプライヤー選定の参考情報として、この評価結果を活用しています。

今後も、この評価に見合う事業の発展に努めるとともに、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

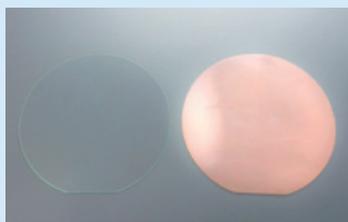


ブロンズメダル

ガラス基板への高密着めっき膜形成技術を開発

当社は、当社独自のめっき技術であるポリピロールめっき法*を用いたガラス基板への高密着めっき形成を可能にする技術を開発しました。

半導体パッケージ基板の新たな材料としてガラスが注目されている中、本めっき形成技術により、低温・常圧のプロセスでは難しかったガラス基板上に密着性の高いめっき層を形成することが可能となりました。



めっき処理前(左) → 処理後(右)のガラス基板

2024年12月11日から13日にかけて開催された「SEMICON Japan 2024」では、当社ブースで本めっき形成技術を用いた微細配線の形成サンプルを展示し、大きな反響をいただきました。

今後も、本めっき形成技術を次世代半導体の微細配線形成に適用していくための研究開発をさらに進めるとともに、量産技術の確立に取り組んでまいります。

*当社が独自に開発したナノ分散ポリピロール液を用いためっき処理技術。



(上) 展示ブース (下) 展示の様子

会社概要 / 株式の状況 Corporate Data/Stock Information

● 会社概要 (2025年3月31日現在)

社名	アキレス株式会社	営業所	北海道営業所 / 九州営業所
設立	1947年5月	工場	足利第一工場 / 足利第二工場 滋賀第一工場 / 滋賀第二工場 美唄工場 / 九州工場
資本金	14,640,795,671円	連結対象子会社	ACHILLES USA, INC. 阿基里斯(上海)国際貿易有限公司 アキレスコアテック株式会社 関東アキレスエアロン株式会社 大阪アキレスエアロン株式会社 その他13社
従業員数	1,210名		
本社	〒169-8885 東京都新宿区北新宿二丁目21番1号 新宿フロントタワー		
関西支社	〒530-0005 大阪市北区中之島二丁目2番7号 中之島セントラルタワー23階		

● 役員 (2025年6月27日現在)

代表取締役社長	日景一郎
常務取締役	河野和晃 (管理部門統轄兼CSR担当)
取締役	横山浩樹 (中国・北米(製造)担当兼滋賀地区担当)
取締役	柳川達也 (営業部門統轄兼第二事業部担当兼シューズBU担当)
取締役	川島英一 (製造部門統轄兼品質保証本部長)
取締役	越智久生 (営業部門統轄兼北米担当兼第一事業部担当兼第一事業部長)
取締役	舘野均
取締役(常勤監査等委員)	山田茂
取締役(常勤監査等委員)	菊入信幸
取締役(監査等委員)	須藤昌子
取締役(監査等委員)	笠原智恵
取締役(監査等委員)	松岡一臣

注記 取締役舘野均氏、須藤昌子氏、笠原智恵氏および松岡一臣氏は、社外取締役であります。

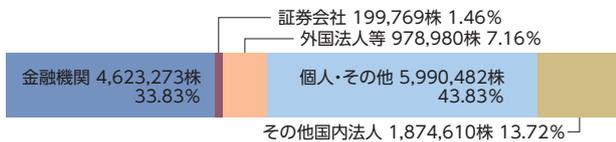
● 執行役員 (2025年6月27日現在)

上席執行役員	中野浩明 (第二事業部長)
執行役員	金田浩一 (車輪資材BU長兼車輪資材販売部長)
執行役員	井上晋介 (工業資材BU長兼工業資材販売部長)
執行役員	柏瀬功次 (建築BU長)
執行役員	吉田隆 (防災BU長)
執行役員	石黒直人 (シューズBU長兼シューズ販売部長)
執行役員	黒岩登志也 (足利第一生産ソリューション本部長)
執行役員	大越俊明 (足利第二生産ソリューション本部長兼工業資材工場長)
執行役員	石原喬二 (滋賀生産ソリューション本部長)
執行役員	門馬利明 (研究開発本部長)
執行役員	徳田等 (経理本部長兼財務部長)
執行役員	市川弘樹 (コンプライアンス本部長兼法務部長兼コンプライアンス推進室長)
執行役員	小崎宗一 (人事総務本部長兼人事総務部長兼人材開発部長)
執行役員	中村公繁 (IR・経営企画本部長兼経営企画室長)
執行役員	松宮稔 (DX推進担当兼情報システム部担当)
執行役員	河原雅明 (インベーション技術本部長)
執行役員	三品文彦 (オフィスセンター長兼足利総務部長)

● 株式の総数等 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	14,562,714株
株主数	10,264名

● 株式分布状況 (2025年3月31日現在)



注記 上記のほか、当社保有の自己株式895千株があります。

● 大株主 (2025年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,388	10.16
東京アキレス協和会	846	6.20
株式会社みずほ銀行	663	4.86
大阪アキレス協和会	547	4.01
足利アキレス協和会	511	3.74
朝日生命保険相互会社	431	3.16
岡 秀朋	409	2.99
株式会社足利銀行	343	2.51
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	325	2.38
セコム損害保険株式会社	315	2.31

注記 上記のほか、当社保有の自己株式895千株があり、持株比率は自己株式を除いて算出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日	3月31日
	中間配当を実施するときは9月30日
定時株主総会	6月中
単元株式数	100株

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 (https://www.achilles.jp) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株式事務のお問い合わせ先

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更およびマイナンバーのお届出など	お取引の証券会社等	みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類について	右記みずほ信託銀行	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00) ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)について	お取引の証券会社等または右記みずほ信託銀行	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主様は、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。	

アキレス株式会社

〒169-8885
東京都新宿区北新宿二丁目21番1号
新宿フロントタワー
<https://www.achilles.jp>

